



令和6年は、元日に能登半島地震が起き、2日には羽田空港でその支援活動に向かっていた海上保安庁機と民間航空機の衝突事故が発生するなど、心を痛める年明けとなりました。命を失われた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

9日の始業式からほとんど間を置かずに実施された大学入学共通テストには、3年生が希望進路の実現を目指して、日頃の学習の成果を発揮するべく、集中して臨みました。また2年生は1月下旬に研修旅行も経験しました。学年のまとめの3学期、学校での学びや活動がより積極的なものになりますよう、皆さんとともに力を尽くしていければと思います。今年もチャレンジを続ける充実した1年にしましょう！



3 学期始業式 1月9日

1月9日（火）に、3学期始業式を体育館で行いました。県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、深野校長が式辞を述べました。冒頭で、元日に発生した能登半島地震で多くの方々が高貴な命を失われたことに哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げ、私たちも防災意識を強く持って対策を進めていくことを確認されました。また、令和6年には、お札のデザインが20年ぶりに変わることにより、一万円札に描かれる渋沢栄一の言葉「無欲は怠惰の基である」をひき、ここでいう「欲」とは「より良い社会の実現に対する社会的欲求」のことであり、若者が夢と目標を持つ重要性を改めて伝えました。そして、3学期も公平な視点、思いやりを持って行動しよう、勇気をもって主体的に行動しよう、と呼びかけました。始業式後には、生徒支援部長から3学期を迎えるにあたって、生活面での注意等がありました。

今年もそれぞれの可能性を広げられるよう、ともに頑張っていきましょう。



いざ 大学入学共通テストへ 1月12日～14日

1月10日（水）、大学入学共通テストを受験する49名の3年生が会議室に集まり、事前ASを実施しました。深野校長は、「緊張するだろうが、緊張するのは当たり前。努力を続けてきた皆の背には力がみなぎっている。厳しい状況でこそプラス思考で、自分の力を発揮してほしい。個々の頑張りが受験に臨む皆の力にもなる。当日平常心で臨むためにも、準備をしっかりしておこう。校歌にあるように、『希望の天地を開かんとともに』。」と激励しました。1月12日（金）にはバス2台で和歌山市の受験会場に向けて出発しました。

感染症の流行が懸念される中での大学入学共通テストとなり、気を遣うことも多くあったかと思いますが、受験生は全員無事に受験を終えることができ、1月15日（月）午前中に学校で自己採点も済ませました。その後、個別面談を実施し、国公立大学等への出願を行っています。これから国公立大学の二次試験や私立大学の一般選抜等に向けて、体調に留意しながら、さらに学びを深めてください。本番では、これまで学んできたことや身に付けた力を存分に出し切れるよう願っています。



◆◆1月のくまの学彩◆◆

租税教室 1月12日

1月12日（金）のくまの学彩は、和歌山税務署から講師の先生（ス波氏・岡崎氏）にご来校いただき、「税のしくみ」「日本の財政の問題」「フューチャーデザイン」などについての授業をしていただきました。租税について教えていただいただけにとどまらず、これからの日本の財政が抱える課題や、未来に向けて何を考えていくべきかなど、今後の探究学習や進路実現につながる講演でした。



画像でたどる新宮・熊野の近代史 1月19日

1月19日(金)のくまの学彩は、「画像でたどる新宮・熊野の近代史」というテーマで、中瀬古友夫先生にご講演していただきました。新宮市の街並みの歴史の変遷や戦時中の新宮市について、豊富な写真や新聞資料を提示しながら説明していただきました。今回も、生徒たちにとって非常に意義のある時間となりました。



身近にある金融・国際金融の話をしましょう 1月26日

1月26日(金)のくまの学彩は、「身近にある金融・国際金融の話をしましょう」という演題で、国際社会貢献センター(ABIC)の活動会員である鈴木和巳先生にご講演していただきました。生徒にとっては一見するととっつきにくい金融・国際金融というテーマについて、鈴木先生の実体験や、大谷翔平選手やトヨタのお話など身近な話題も交えながら解説していただき、ぐっと理解が深まりました。



1 学年合同LHR 1月24日

1月24日(水)6・7限で1学年が合同LHRを行いました。「楽しみ、友達との良い思い出を作る。相手への思いやりを持ち、主体的に動く。」ことを目標とし、生徒の運営委員が中心となって、内容やルールを検討し、全体に周知を図ってきました。当日は、体育館でドッジボールを行い、大変盛り上がりました。



2 学年研修旅行 1月23日～26日

1月23日(火)～26日(金)、2学年研修旅行(長野・愛知方面)を実施しました。寒波の到来で天候が心配されましたが、長野県志賀高原でのスキー・スノーボード体験も予定通り行うことができ、名古屋での研修も含めて充実した旅行となりました。一面の雪景色に驚きの声を上げながら、初めてのスキー・スノーボードに挑戦する生徒も多くいました。最初は滑走の準備をするのも大変でしたが、すぐに慣れ、体験2日目には斜面を悠々と滑り降りてくる姿に頼もしさを感じました。学年やクラスの仲間とじっくりと関わり、お互いを思いやれる時間も持ったのではと思います。2年生の皆さんの笑顔と人懐こさ、生き生きとした表情が印象的でした。

